

## 再考 地域における自治のかたち

今後、神奈川県あるいは川崎市も人口減少を迎え、限られた地域資源の下で、どのようにして地域を運営するかが問われます。

第1分科会では、神奈川県内には、横浜市、川崎市、相模原市という3つの大都市があり、県との二重行政などが問題になっているため、その自立性を高める「特別市構想」について、取り上げます。

第2分科会では、特定のエリアを対象として、住民・事業者・地権者等が良好な環境や地域価値を向上させる「エリアマネジメント」のあり方を考えます。

コロナ禍3年の経験を踏まえて、「地域における自治のかたち」を再考します。



新百合ヶ丘駅前のマルシェの様子

◎日時 令和5年5月20日(土)  
14時00分から16時45分  
(13時30分から受付開始)

◎参加費 500円

◎場所 カルッツかわさき大会議室  
川崎市川崎区富士見1丁目1-4  
JR「川崎駅(北口東)」京急「京急川崎駅」より徒歩約15分(裏面地図参照)

◎定員 各分科会 50名(合計100名)  
※自治体学会会員以外の参加者も大歓迎です。

◎参加方法 グーグルフォームによる申込  
※詳細は裏面を御覧ください(先着順)。

## ◎まち歩き(午前中)

東海道起立400年～旧東海道を歩く～  
要申込；先着30名 参加費500円  
9時50分 JR川崎駅中央通路時計台集合  
川崎駅～東海道かわさき宿交流館～  
田中本陣跡～万年屋跡～六郷渡し跡～河口水門～港町駅～京急川崎駅(12時終了予定)

◎交流会(終了後) 川崎駅周辺を予定  
実費(5,000円程度) 定員50名



こすぎコアパークでのSDGsフェアの様子

## プログラム

9:50～ まち歩き

14:00～16:00 分科会

第1分科会 大都市制度と府県の役割  
—「特別市」構想を考える

## パネリスト

辻 琢也さん(一橋大学大学院法学研究科教授)  
牛山久仁彦さん(明治大学政治経済学部教授)  
谷本有美子さん(法政大学社会学部准教授)  
竹井 斎さん(元川崎市自治基本条例検討委員会委員)  
コーディネーター 磯崎初仁さん(中央大学法学部教授)

第2分科会 エリアマネジメントの最前線

～都市コモンズとしての「公共」空間に向けて～

## パネリスト

岩倉宏司さん(新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム事務局(株)ビュグラー取締役)  
谷村晃子さん(株)プランニング・プラスディレクター(武蔵小杉エリアプラットフォーム事務局)  
塚本猛さん(川崎市総務企画局企画調整課課長)  
コメンテーター 野口和雄さん(都市プランナー(有)野口都市研究所)  
コーディネーター 小島聡さん(法政大学人間環境学部教授)

16:10～ 全体会

特別市×エリアマネジメントまちづくり領域における「自治のかたち」

コーディネーター 鈴木伸治さん(横浜市立大学国際教養学部都市学系教授)  
報告者 第1分科会・第2分科会の登壇者等を想定

終了後 交流会

自治体学会は、地域をよくするためにつくられた、自治体職員、議員、研究者、市民の学びと交流のネットワークです。1986年に横浜市で設立総会を行ったこの学会が、今年8月、川崎市で第37回大会を開催します。コロナ禍で4年ぶりの対面開催です。この大会に向けて、神奈川ならではのテーマを設定して「プレフォーラム」を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

自治体学会川崎大会地元実行委員会委員長 磯崎初仁

主催：自治体学会川崎大会地元実行委員会 後援：川崎市(予定)

問合せ先：自治体学会川崎大会地元実行委員会事務局 鈴木

E-Mail：2023kawasakijichi@gmail.com

## ◎参加方法

次のグーグルフォームのURL 又はQR コードから名前、メール、所属を登録してください。

<https://forms.gle/ES3AGN8NNgBhwYHA8>

登録ができない場合は事務局のメールに同様の内容を返送してください

(2023kawasakijichi@gmail.com)。

申込多数の場合で参加いただけない場合のみメールします。また、開催日の3日前（5月17日（水））を目途に登録されたメールに、当日の資料のダウンロード方法等を連絡します。



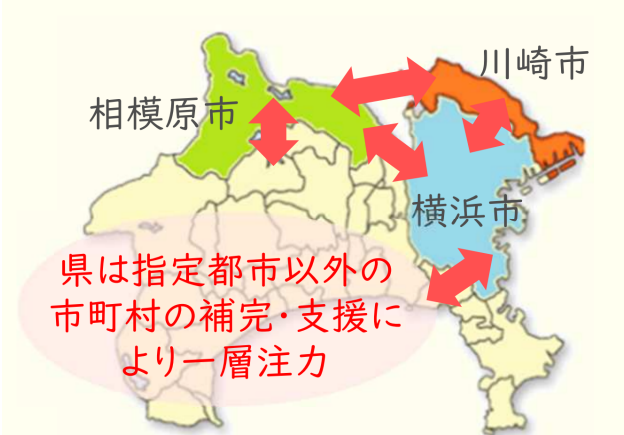
## 《フォーラム等の趣旨》

### 第1分科会

指定都市市長会等から、政令市区域内の都道府県の事務と税源を政令市に移譲し、政令市に集約する「特別自治市」（または特別市）構想が提案されており、川崎市、横浜市、相模原市もこの構想を進めている。

一方、政令市のある道府県はこれに慎重姿勢であり、神奈川県は、「住民目線から見て法制度化することは妥当でない」としている。そもそも現行の政令市制度（1956年設立）が、府県と大都市の妥協の産物としてつくられた不安定な制度であり、両者の側には常に不満があって、何度か改革論が主張されてきた。

本格的な人口減少時代に突入し、大都市制度のあり方と府県の実在意義をどう考えるか、自治体学会としても考えるべき時期にある。



神奈川県における特別市のイメージ

（出典：住民目線から見た「特別市」の法制化の必要性（三指定都市資料））

### 第2分科会

エリアマネジメントの考え方が語られるのは、これまでの、町内会・自治会といった地縁組織や商店街振興会といった既存団体がまちづくりを担うことと限界、さらに、駅周辺の拠点開発が進み、これら既存の枠組みをこえてあらたなまちの維持管理・運営・活性化をめざす組織枠組みの必要性が唱えられたことにある。

川崎市においても、武蔵小杉駅周辺では、タワーマンションの建設や市街地再開発による新たなまちづくり組織の必要性からエリアマネジメント組織が設立・運営されている。さらに、新百合ヶ丘駅周辺では、農住まちづくりを基盤として、文化芸術のまちづくりが繰り広げられ、新たなまちづくりを指向してエリアマネジメント組織が設立・運営されている。

これら実践例の積み重ねから、エリアマネジメントの現在と今後のあり方について論じる。

## 会場案内図（分科会・全体会）

JR「川崎駅（北口東）」京急「京急川崎駅」より徒歩約15分

※ 市役所通りをまっすぐお進みください。

※ まち歩きはJR川崎駅中央通路時計台集合になります。



※ - - - - は徒歩ルートです。

## 今後の予定

今年の8月に第36回全国自治体政策研究交流会議、自治体学会第37回大会が開催される予定です。是非ご参加ください。

令和5年8月25日（金）  
第36回全国自治体政策研究交流会議  
令和5年8月26日（土）・27日（日）  
自治体学会第37回大会  
於：カルッツかわさき、教育文化会館